



※注意：このシートは横浜市の  
ホームページ等で公開されます。

まちづくりコーディネーター 登録シート（閲覧用）②

支援専門分野に関する支援の実績等	地域のまちづくりルール(地区計画)、景観計画	元町地区	平成 14 年～ 17 年	横浜を代表する元町商店街の第三期ライブタウン事業整備のデザインコーディネーターに係わりながら元町の地区計画推進を支援し、それらを補完するまちづくり協定の策定を支援した。
	商店街活性化	栄・天神橋商店街	平成 10 年～ 15 年	平成 10 年から、環状 4 号線の道路拡幅によって、栄区天神橋商店街の片側商店が買収・整理される問題に関して、商店街の課題解決策を検討し、商店や住宅を代替敷地に集約化する合意形成を支援した。その結果平成 15 年にパセアル本郷台として、商店街の拠点形成が図られた。
	まち普請事業	金沢・西柴地区	平成 21 年～ 22 年	金沢区西柴地区のコミュニティカフェづくりの「まち普請事業」にコーディネーターとして係わり、ハードのコミュニティ店舗の設計からソフトの企画・運営まで支援した。現在、コミュニティカフェ「さくら茶屋」は、市民主体運営のモデルとして評価が高い。
	福祉のまちづくり	関内駅周辺地区	平成 10 年～ 14 年(重点地区) 平成 15 年～ 現在(横濱ジェントルタウン)	平成 10 年から、関内駅周辺で福祉のまちづくり重点推進地区が始まり、福祉のまちづくりの支援をしてきた。5 年後にこの活動をもとに、横濱ジェントルタウン倶楽部を立ち上げ、行政主導のまちづくりから民間主導による組織の自立化を、商店街・障害者・市民とともに図った。その結果、現在は NPO として機能し様々な福祉活動を行う団体に成長した。(さわる地図等)

まちづくりに関する PR

まちづくりから建築の設計まで一貫してコンサルできる強みを持っています。

まちづくりは、様々な地区の課題や問題を解決する事が基本的な仕事です。そこにはどこでも共通する手法もありますが、基本的には、地区ごとに多様な個性や課題があり、自然資源や歴史的資源さらに人材資源等、解決策は地区ごとに異なり一様ではありません。ある解決策が見えても、様々な越えるべきハードル(障害)が沢山あります。これらを超えて解決した時の達成感は、まちづくりの醍醐味です。行政にただ不満を言っても、何の問題も解決はしません。行政・企業・市民が興味を示す解決策を市民の力で発見し、それを実現する地域力が見えると、次々に新たな市民が参加する連鎖が生まれます。

まちづくりの共通する手法としては、課題解決は時間をかけて無理をしない、しかし行動を起こす時は素早く、そして楽しく。さらに地域の特性を良く知り、必ず解決策はあるとあきらめないことだと思います。